

すがやかにはさみならして花うりの来る音すなり初夏の朝  
さかえゆく緑を見れば慰むと床が一りしぬやめる妹  
ならしたる土に小さき種まけば夏來にけらし土の輝く  
よき人にぼたんの如くみつかれて此の初夏を嫁き行く人  
匂やかに淡紫のもやこめて藤のつゆ散る初夏の朝  
銀色に若葉はをどりさはやかにすみたる色の初夏の空  
我のごと君は若しと若葉みなわれにさゝやく嬉し此頃  
しらしらと残る櫻のこぼれ来る初夏のまひるの庭の悲し

◎新聞屋 三

此の間の遠足の時、山の手電車が新宿で止つたり、ある紳士がまごからくびを出して「オーイ新聞を呉れ」と云ひました、新聞屋は向ふの柱のまごころにたつてゐましたがきかないのか、きこえてもくるのが面倒なのか、たゞあくびばかりしてゐてちつとも來ません、そこにゐる人達はみんな笑つてゐます。  
あまり來ないので紳士は怒つて大きな聲でとなりつけましたので、やつと、のそのそ歩いてきました、その時も電車はうごき出してゐました。  
商賣がいやならやめてしまへばよいのに、ほんまにかしい新聞屋です。

文科の動靜

四月二日 午後六時頃から東京に残つた五人が宮裏の關根先生の御宅へ伺ひました、折柄下村先生も御見えになりまして、色々なお話に花が咲き、喜の限りを盡して御宅を出したのは、可成り人通りも少くなりました頃、嬉しさをねえぶるの御土産に包んで、靜かな舎へ歸りました。

五月三日 色々な時代を含んで居る、四十年と云ふ長い間を女子教育の爲に、又本校の爲に、殊に多く文科の爲に御盡し下さいました佐方先生が、御頽齡の故を以て御辭任になりましたに就いて、如蘭會主催の下に送別の式を致しました。とは云へ私共も先生の御教へを何時迄も御受け致し度う存じます、先生は講師として此の願を容れて下さいました。

同日 長坂好子先生が本校の授業囑託を命ぜられましたが、四年生の一部分が聲樂を御習ひ致して居ります。

五月二十八日 午前八時本校生徒一同講堂に參集、照憲皇太后の御影を拜し、それより校庭に於て如

蘭會各部の運動競技に移る、午前中は体操競技、薙刀、弓技(これは射場にて)晝食、庭球、柔道、体操競技、拍手と萬歳の中に散會したのは午前三時頃。

六月十一日 本校校長中川謙二郎先生、御頽齡の故を以て御退官、御願出の御裁可有り、全校職員生徒一同驚き惜しみ奉りしも如何とも爲し難し、則ち本校は、はた本會は、本日をして、前校長中川先生を送り奉り、元音樂學校長湯原元一先生を新校長として迎へ奉る。

六月十二日 午前十一時より、講堂に於て、前校長中川先生告別式、新校長湯原元一先生就任式。

◎途上雜記 善子

學校から家への道を、私は急いで行く、ゆつくり歩いても十五分の道を、私は急いで行く。  
家へ歸つても何をする氣が、急ぐ用事は別にない、時間が惜しいのか、今日は土曜日である。  
それでも私は急いで行く。  
私に向つて行く所は私の家なのだから、それで私は急いで行く